



## 1 令和4年度 第2回 穂波東校小中合同研修会

8月5日（金）、「穂波東校『9年間の教育活動プラン』」における小中重点課題の解決に向けた「穂波東校小中合同研究会」を実施しました。

### (1) 武井教育長からのご挨拶

合同研究会に先立って、飯塚市教育委員会 武井政一 教育長より激励のお言葉をいただきました。

武井教育長は、現在、穂波東校の全職員が一丸となって小中一貫教育全国サミットに向け鋭意取り組んでいることに感謝の意を伝えられました。

また、これまでの飯塚市における小中一貫教育推進の歩みや、本市が小中一貫教育を軸に様々な教育施策を展開していること等についてお話しされました。



穂波東校の職員にお話をされる武井教育長

### (2) 各部会からの報告

本年度の穂波東校の小中重点課題の解決に向け、穂波東校の先生方はそれぞれ三つの部会に分かれ、課題解決に向けた協議を行いました。そして、各部会から次のような協議内容が報告されました。

#### ① 学力向上部会

- 学力向上に向けた小学部と中学部のそれぞれの取組の現状等について情報交換を行った。これらの取組を通して、小中ともに、基礎学力育成において一定の成果を挙げている。今後、小中の職員が実際にそれぞれの取組状況を見学に行き、更なる改善を図る必要がある。
- 活用力の育成に向けた改善策を策定する必要がある。
- 小学部は国語の学力向上において成果を挙げている。このことで中学部より「小学部に学びたい。」との要望が出ている。

#### ② 生徒指導部会

- 中学部での不登校の兆候は、小学部在籍時から見て取れる。その背景として、基本的な生活習慣の未定着（家庭内での指導の在り方に課題がある）、低学力（授業についていくことが厳しい）等が挙げられる。これらを改善するためにも、家庭（保護者）により一層働きかけることに加え、家庭内での指導を支援する体制づくりが必要である。また、低学力に対して、放課後の補充学習等のサポートが必要である。

#### ③ 未来の教育部会

- キャリアパスポートの更なる活用を通して、キャリアプランニング能力の育成等を図る必要がある。
- 「体験型経済活動プログラム（JAプログラム）」は、情報不足により、手探りの状態であるが、全国サミットに向けてしっかりと取組を進めていきたい。
- ICT機器の活用において、「どこで使うべきか」をしっかりと見極めていくことが肝要である。今後の実践を通してそれを明らかにしていきたい。

### 令和4年度 穂波東校小中合同研究会

部会	前年度の取組（教育活動）を通して明らかになった課題（※小中重点課題）
学力向上部会	活用力の育成、基礎基本の確実な習得（二極化の解消）
生徒指導部会	不登校及び不登校傾向児童生徒の減少
未来の教育部会	「これからの時代に求められる資質・能力（英語力・プログラミング的思考力等）」の更なる育成

※小中重点課題⇒前年度までの課題の内、合同研に基づく取組を必要とする課題